

国際競争拠点都市整備事業 事後評価について

福岡市住宅都市局
都心創生部 都心事業推進課
令和5年11月

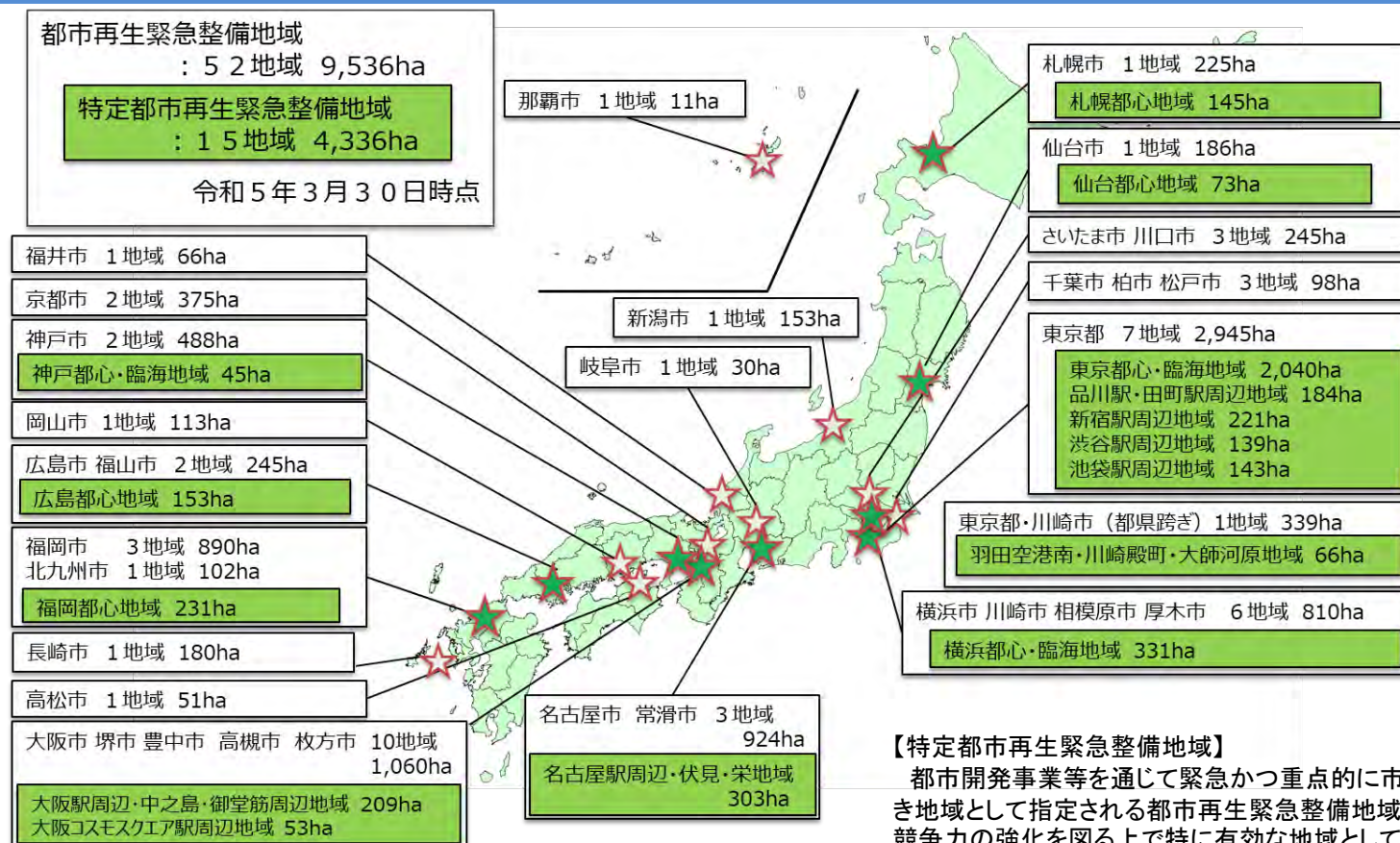
国際競争拠点都市整備事業とは

国際競争拠点都市整備事業(公共公益施設整備型)

- ◆対象地域：**特定都市再生緊急整備地域**（全国15地域）
- ◆支援対象事業：**大都市の国際競争力強化**につながる都市開発事業に関連して必要となる**地域拠点や交通基盤等の都市インフラ整備**

（例：道路の新設又は改築・鉄道施設の建設又は改良・バスターミナルの整備・鉄道駅周辺施設の整備・市街地再開発事業・土地区画整理事業）

- ◆補助対象者：地方公共団体、都市再生機構、法律に基づく協議会
- ◆補助率：1/2（間接補助の最大補助率：2/3）



出典：内閣府HPより

【特定都市再生緊急整備地域】

都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として指定される都市再生緊急整備地域の内から、都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域として政令で指定する地域

事業概要＜補助対象事業および主な都市開発事業＞



- 国際競争拠点都市整備事業を活用し、6事業を実施
- 国際競争力強化に向けた民間都市開発事業を誘導

事後評価のフロー

事業効果を把握するための定性的評価



事業効果の確認(定性的評価)



事業を巡る社会経済情勢等の変化



費用便益比(B/C)の検証



改善措置等の検討



今後の方針(案)

1. 事業の効果を把握するための定性的評価

➤ 新規事業採択時評価及び再評価時点で想定した事業効果の発現状況の確認

評価項目

評価指標

事業名称

① 国際競争力の強化

- 国際空港等へのアクセス性の向上
- 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上
- 企業活動の誘発
- 大規模な民間開発と一体的な実施

地下鉄旅客案内施設の改良
【拠点間回遊案内強化事業】

地下鉄空港線・七隈線
乗換案内モニターの設置
【拠点間回遊案内強化事業】

明治公園自転車駐輪場
整備事業

因幡町通り地下通路
整備事業

ふれあい通り地下通路・駐輪場
整備事業

はかた駅前通り再整備事業

② 防災機能の強化

- 地域の安全性の向上
- 施設の安全性の向上
- 施設のBCP対応化
- 災害時支援

③ 都市環境の改善

- 周辺交通の円滑化
- 施設整備等による快適性の向上
- 環境負荷の低減
- 交通安全の向上

都市開発事業
KITTE博多、JRJP博多ビル
深見パークビルディング
天神ビジネスセンター、福ビル街区
天神1-7計画 等

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

①国際競争力の強化

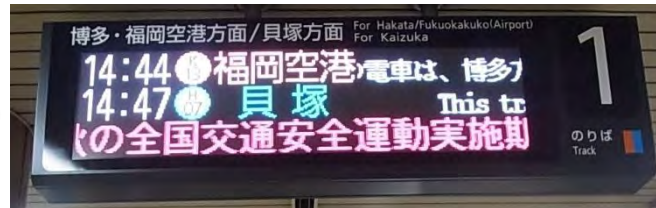
■ 国際空港へのアクセス性の向上

指標のチェックの根拠

地下鉄旅客案内設備の改良【拠点回遊案内事業】(H24～H26)



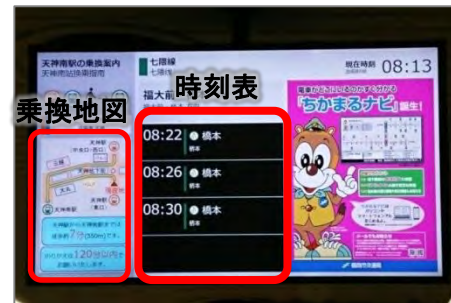
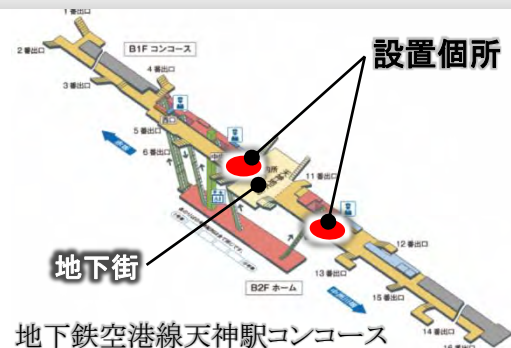
※ 2段目は次発電車と電車接近の相互表示



設置台数（天神駅 10台、博多駅 23台）

- 次発電車と電車接近を同時に表示
- 停車駅や乗換情報、遅延状況など、表示情報を充実
- 7色カラー化による視認性の向上（改良前:3色 → 改良後:7色）

地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置【拠点回遊案内事業】(H27)



乗換案内モニター

- 移動時間を考慮した時刻表を表示
- 地下街の地図や距離、乗換可能時間等を表示

➤ 表示内容の充実や視認性の向上などにより、市民や来街者の利便性向上が図られた

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

①国際競争力の強化

■ 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上

指標のチェックの根拠

明治公園自転車駐輪場の整備(H25)



整備前



整備後



- 明治公園に駐輪場を整備することで、周辺の放置自転車や老朽化したサイクルポストの撤去が可能となり、博多駅周辺の歩行者空間を確保し、利便性や快適性の向上が図られた

2. 事業効果の確認 (定性的評価項目)

①国際競争力の強化

■ 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上

指標のチェックの根拠

因幡町通り地下通路、ふれあい通り地下通路の整備(H27～R4)



➤ 拠点駅間(地下鉄・西鉄)や市役所をバリアフリー動線で結ぶ歩行者ネットワークの強化により、利便性・快適性の向上が図られた

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

①国際競争力の強化

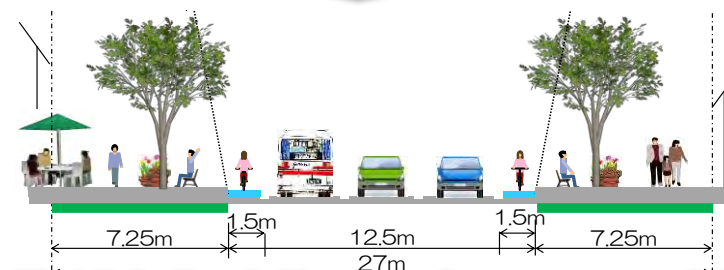
■ 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上

指標のチェックの根拠

はかた駅前通りの再整備(H28～R4)



【現況】車道5車線、歩行者＋自転車：5.5m



【整備後】車道3車線、歩行者 7.25m、自転車 1.5m

- 歩道の拡幅や自転車専用空間の確保により、歩行者の快適性の向上が図られた

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

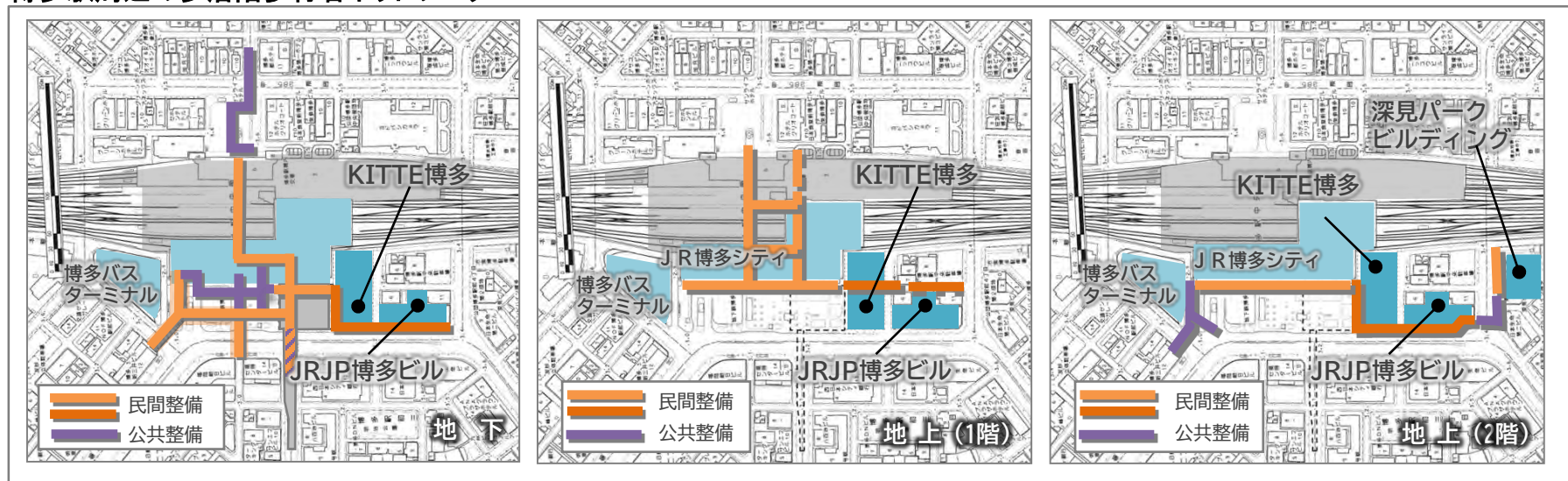
①国際競争力の強化

■ 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上

指標のチェックの根拠

民間開発による歩行者空間の整備の誘導 【JRJP博多ビル、KITTE博多、深見パークビルディング】(H24～R3)

博多駅周辺の多層階歩行者ネットワーク



- 地下通路、地上の歩行者空間確保、地上2階の歩行者デッキの接続により、博多駅を中心とした多層階ネットワークを形成し、利便性や快適性向上が図られた

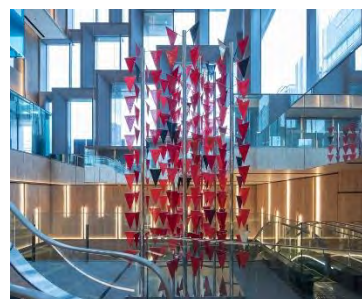
2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

①国際競争力の強化 ■ 企業活動の誘発

指標のチェックの根拠

民間開発による先進的なビルへの建替え誘導【具体事例：天神ビジネスセンター】（H24～）

- ・高さ約89mの高層ビル(航空法の特例承認を活用)
- ・基準階貸付面積約2,370㎡のフロアプレートをもつオフィスビル
- ・免震構造を採用した耐震性の高いビル・地下鉄天神駅と直結したバリアフリー動線の整備
- ・「感染症対応シティ」の取り組み(換気増強、共用部の非接触化 等)



【計画概要】

用 途：事務所・商業等
敷地面積：約3,900㎡
延床面積：約61,100㎡
階 数：地上19階、地下2階
建物高さ：約89m

建設地



➤最新のオフィス空間整備により、グローバルな企業を誘致

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

②防災機能の強化

- 施設の安全性の向上
- 施設のBCP対応化
- 災害時支援

指標のチェックの根拠

民間開発による先進的なビルへの建替え誘導【主な事例】（H24～）



- 設計地震力を建築基準法の1.56倍以上相当に設定
- 72時間対応の非常用発電機を設置
- 帰宅困難者対策として市と協定締結（防災備蓄倉庫、退避施設整備）



- 設計地震力を建築基準法の1.25倍以上相当に設定
- 帰宅困難者対策として市と協定締結（防災備蓄倉庫、退避施設整備）



- 設計地震力 1.5倍以上
- 帰宅困難者対策として市と協定締結（防災備蓄倉庫、退避施設整備）

➤更新期を迎えた民間建築物について、規制緩和を活用し、耐震性が高く先進的なビルへの建替えを誘導することで、防災機能の強化が図られている

2. 事業効果の確認 (定性的評価項目)

③都市環境の改善

■ 交通安全の向上

指標のチェックの根拠

因幡町通り地下通路、ふれあい通り地下通路の整備(H27～R4)

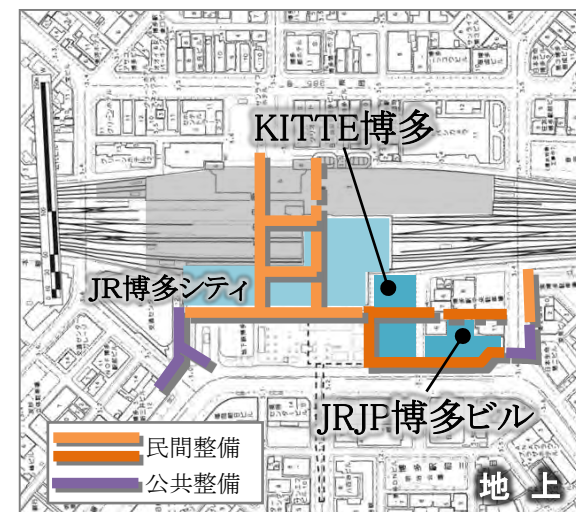
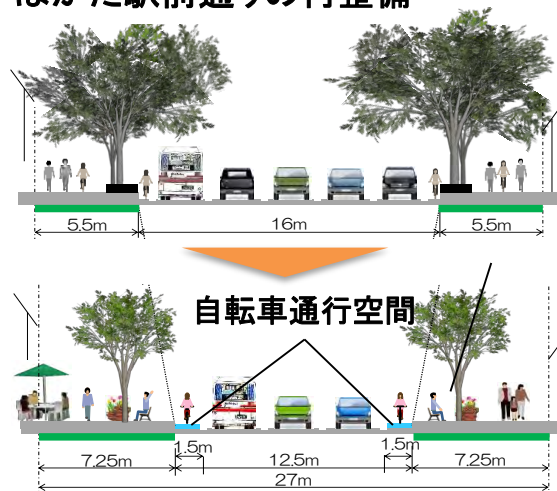
はかた駅前通りの再整備(H28～R4)

【民間開発】 JRJP博多ビル、KITTE博多、深見パークビルディング(H24～R3)

民間開発における、多層階ネットワークを形成する歩行者空間の整備誘導



はかた駅前通りの再整備



- 官民連携による歩行者ネットワークの形成や自転車レーンの確保により、歩行者空間の安全性向上が図られた

2. 事業効果の確認（定性的評価項目）

③都市環境の改善

■ 施設整備等による快適性の向上

指標のチェックの根拠

「はかた駅前通り」における官民連携によるフラワーポットやベンチ等の設置(H28～R4)

博多駅周辺のエリアマネジメント団体である「博多駅まちづくり推進協議会」が中心となって設置・維持管理を実施



- 官民連携による歩道上の憩い空間創出により、周辺環境の快適性の向上が図られた

2. 事業効果の確認（民間都市開発事業の誘導）



アジアの拠点都市としての役割・機能を高め、
新たな空間と雇用を創出するプロジェクト
(2015.2～)

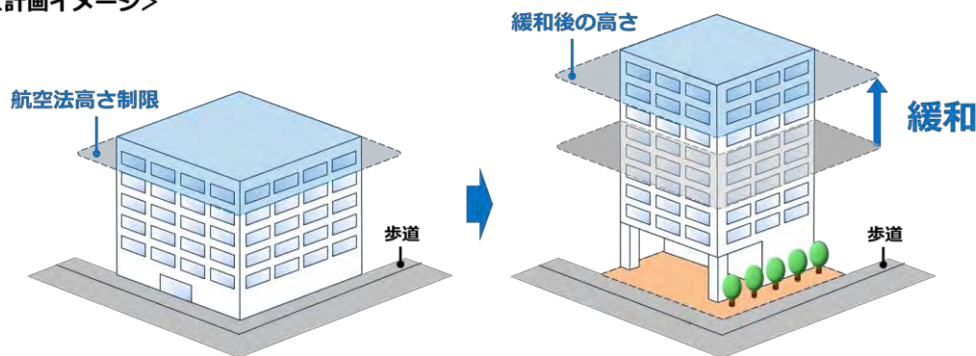
規制緩和を活用したまちづくり

航空法高さ制限の特例承認
『高さ制限』の緩和



都心部機能更新誘導方策
『容積率』の緩和

<計画イメージ>



民間ビルの建替えにあわせ、

- ・ 耐震性の向上
- ・ 賑わい・憩い空間の創出
- ・ まちに潤いを与える木陰や花
- ・ 公共交通利用促進や環境負荷低減などの取り組みを誘導

対象範囲イメージ

天神交差点から半径約500m(約80ha)



建築確認申請数 **63棟**

(天神ビッグバン開始後の2015年2月～2023年3月末)

竣工棟数 **52棟**

(2023年3月末時点)

2. 事業効果の確認（民間都市開発事業の誘導）

天神ビッグバンに関する進捗状況（ビル建替え計画）



天神ビッグバンエリア：天神交差点から半径約500m（約80ha）

航空法高さ制限の特例承認

- ・旧大名小学校跡地 約76m⇒約115m
- ・天神明治通り地区
【西側】約76m⇒約115m
【東側】約76m⇒約76m～約100m
- ・天神一丁目地区
約65m～約67m⇒約80m～約96m

天神一丁目 北ブロック(14番街区)

2020.9 都市計画決定
容積率 最大1250%

福岡中央郵便局および
イオンショッピング福岡の
段階連鎖建替えプロジェクト

天一北14番街区ビル

2025年 竣工予定



天神一丁目 15・16番街区

天神ビジネスセンター

2021.9 竣工



天神BC 2期計画

2026年 竣工予定



天神二丁目 南ブロック (明治通り沿道)

2019.3 都市計画決定
容積率 最大1300%

旧大名小学校跡地

2017.9 都市計画決定
容積率 最大800%

福岡大名ガーデンシティ

2023.3 竣工



住生FJビル

2025年 竣工予定



HLC福岡ビル

2024年 竣工予定



天神二丁目南ブロック
駅前東西街区プロジェクト

天神一丁目地区 北エリア

2021.3 都市計画決定
容積率 最大1400%

天神一丁目 南ブロック

2015.9 都市計画決定
容積率 最大1400%

天神1-7計画

2026年 竣工予定



福ビル街区

2024年 竣工予定



2. 事業効果の確認（民間都市開発事業の誘導）



九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいをさらに周辺につなげていくプロジェクト

交通基盤の拡充とあわせ、規制緩和などにより耐震性の高い先進的なビルへの建替えを促進し、周辺地区との回遊性や都市機能の向上を図る
(2019.1～)

建築確認申請数 **25棟**

(博多コネクティッド開始後の2019年1月～2023年3月末)

竣工棟数 **18棟**

(2023年3月末時点)

対象範囲イメージ

博多駅から半径約500m(約80ha)



2. 事業効果の確認（民間都市開発事業の誘導）

博多コネクティッドに関する進捗状況（ビル建替え計画）

1 都ホテル博多



2 ザ・ブラッサム 博多プレミア



3 九勸 承天寺通りビル



4 博多深見パークビルディング



5 博多イーストテラス



6 コネクトスクエア博多



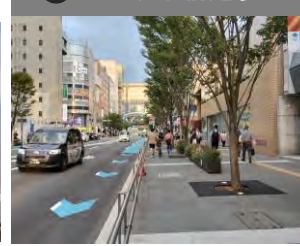
7 西日本シティ銀行本店本館



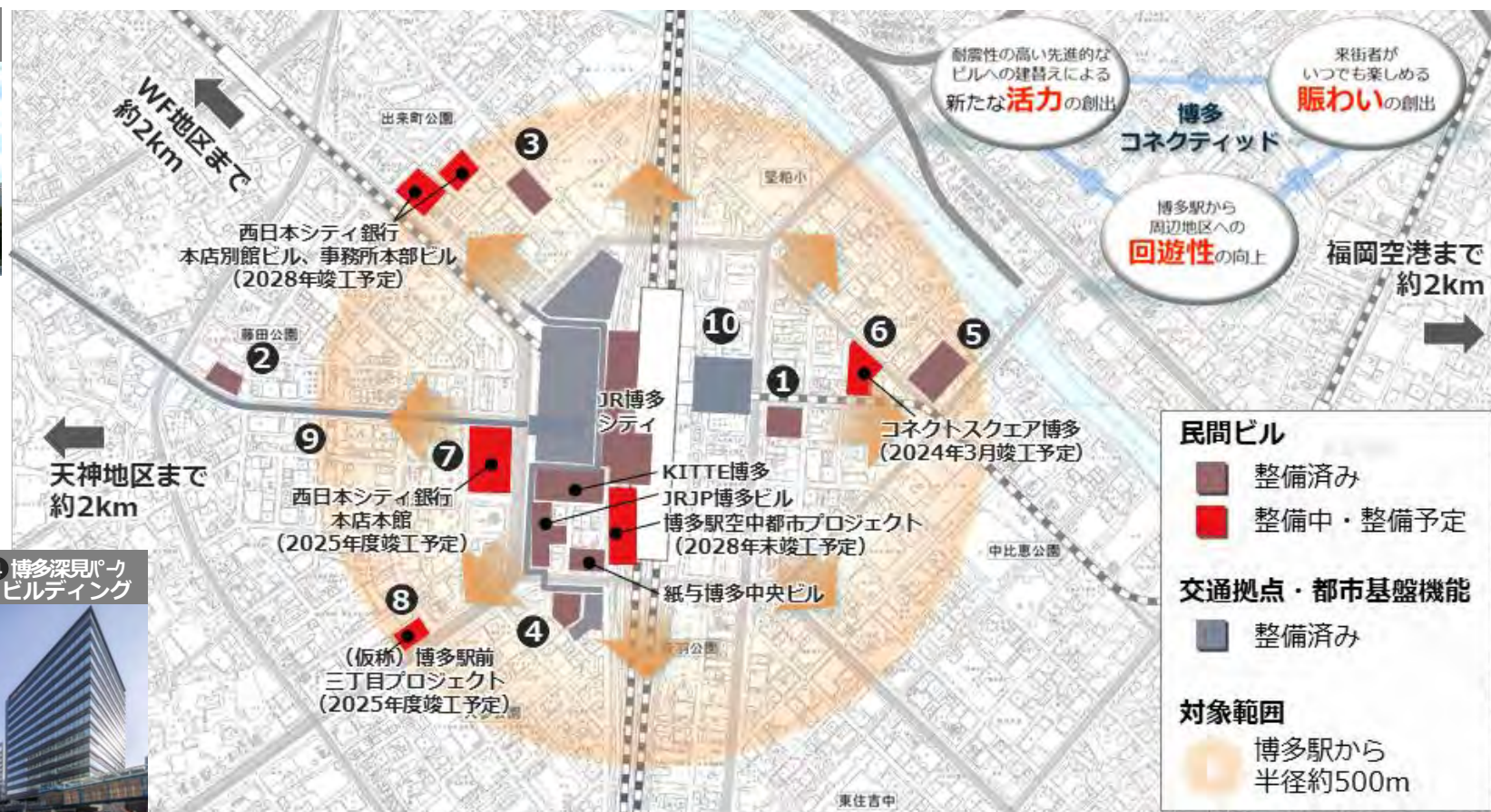
8（仮称）博多駅前三丁目プロジェクト



9 はかた駅前通り



10 筑紫口駅前広場

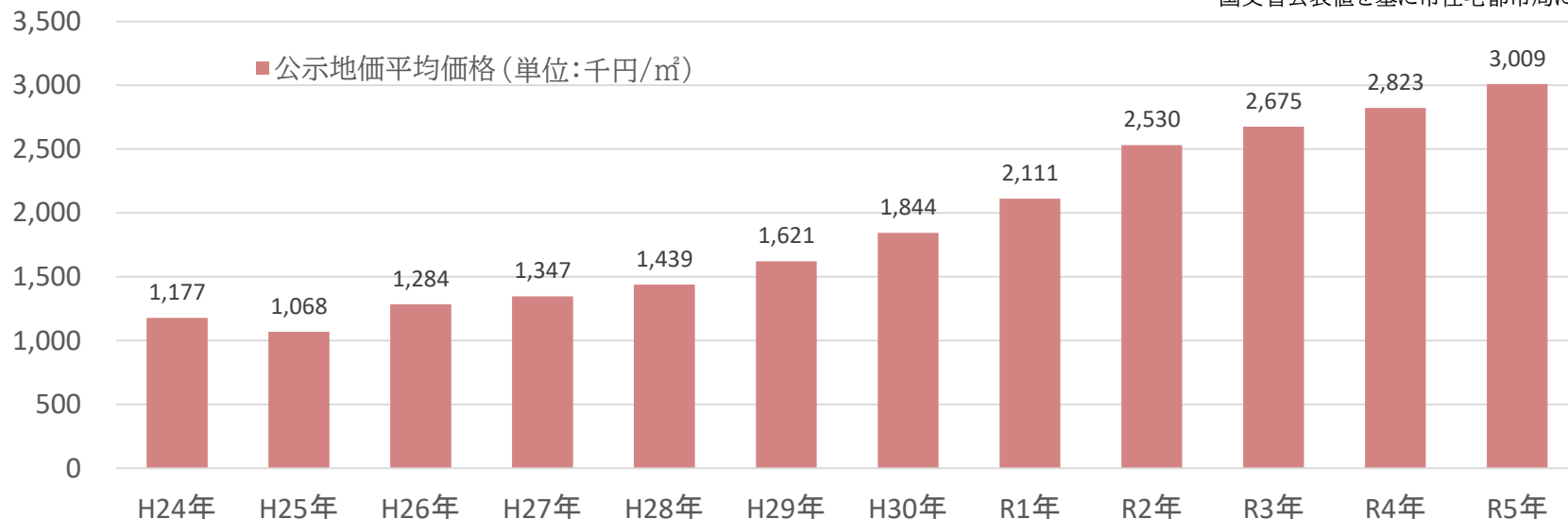


3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

社会経済情勢の変化を示すデータ

■ 都心部の公示地価(地区内平均価格)

※毎年1月1日時点の地区内各地点公示地価の平均値
国交省公表値を基に市住宅都市局にて集計



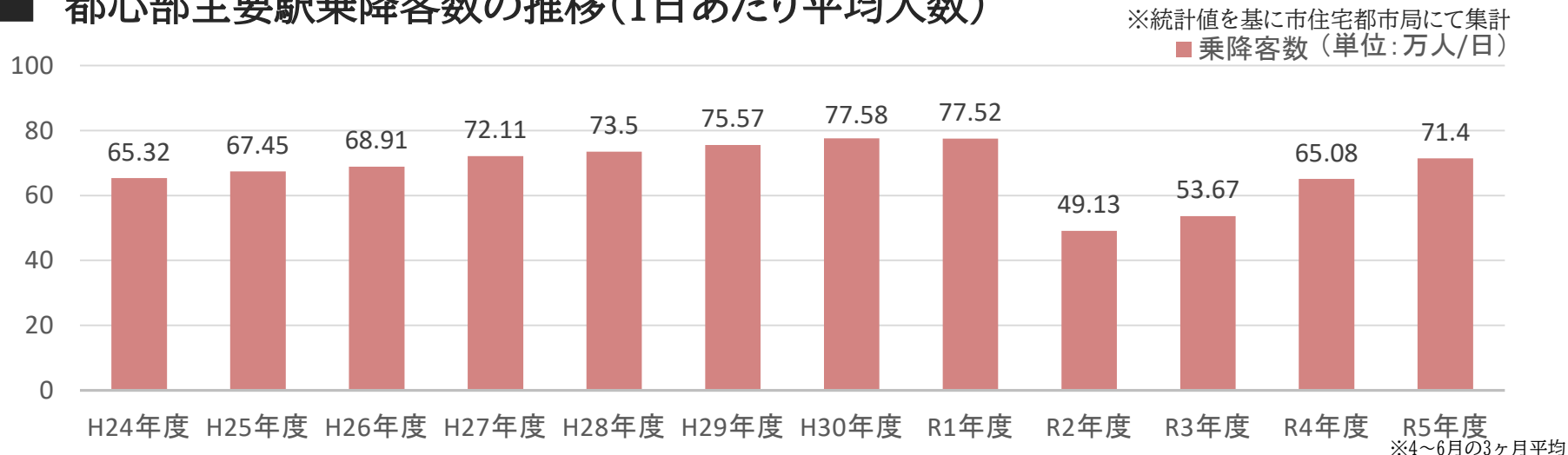
- 事業対象範囲(特定都市再生緊急整備地域)の公示地価(平均額)の推移を確認
⇒ 交通基盤整備や新たな民間開発の増加が都市の魅力向上に繋がり、大きく上昇



3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

社会経済情勢の変化を示すデータ

都心部主要駅乗降客数の推移(1日あたり平均人数)



➤ 都心部主要駅5カ所(JR博多駅、市営地下鉄博多駅・天神駅・天神南駅、西鉄大牟田線福岡天神駅)の年度ごとの乗降客数の推移を確認

⇒ 拠点駅周辺施設の整備等により利便性・快適性向上に寄与
コロナ禍の影響により一時大幅減少したが回復しつつあり、期間内では概ね増加傾向

地下鉄旅客案内設備の改良【拠点回遊案内事業】



※ 2段目は次発電車と電車接近の相互表示



設置台数(天神駅 10台、博多駅 23台)



ふれあい通り地下通路・駐輪場



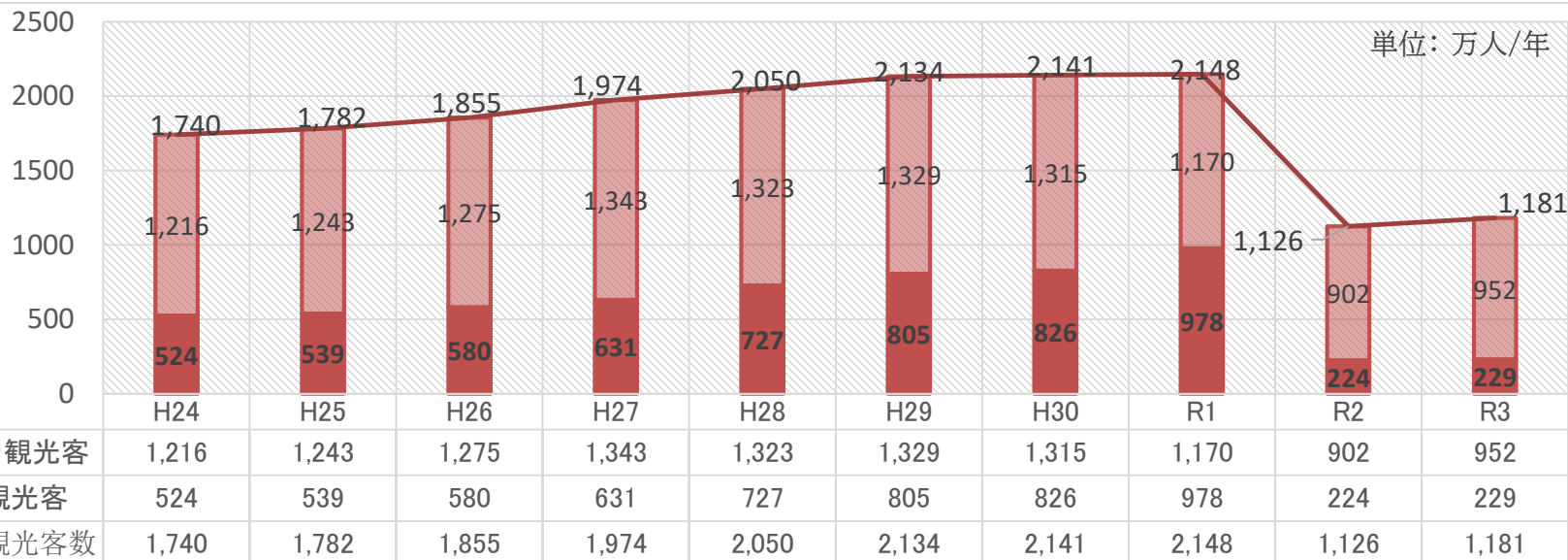
明治公園地下駐輪場

3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

社会経済情勢の変化を示すデータ

福岡市の入込観光客数の推移

※「福岡市の観光・MICE」2023年版(福岡市観光統計)より



➤ 福岡市の入込観光客数の推移を確認

⇒乗換案内表示や多層ネットワーク形成等により拠点駅の利便性・快適性向上に寄与
 コロナ禍の影響により一時大幅減少したが回復しつつあり、期間内では概ね増加傾向
 (福岡県全体のR5.8の宿泊客数[189万人]:前年同月比 +39%、R1年同月比 +0.8% [観光庁R5.10宿泊旅行統計調査])

地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置【拠点回遊案内事業】



4. 費用便益比(B/C)

事業名称

地下鉄旅客案内施設の改良
【拠点間回遊案内強化事業】

地下鉄空港線・七隈線
乗換案内モニターの設置
【拠点間回遊案内強化事業】

明治公園自転車駐輪場
整備事業

因幡町通り地下通路
整備事業

ふれあい通り地下通路・駐輪場
整備事業

はかた駅前通り再整備事業

費用便益比(B/C)

$$B/C = 1.60$$

便益(B)：通勤通学以外の利用者について、乗換情報が無いことによる損失時間を算出し、情報提供による利便性向上効果を計上

$$B/C = 1.33$$

便益(B)：通勤通学以外の利用者について、乗換情報が無いことによる損失時間を算出し、情報提供による利便性向上効果を計上

$$B/C = 1.24$$

便益(B)：駐輪場収入、周辺の放置自転車対策費用の縮減のほか、歩道の路上駐輪を廃止し、歩行空間が広がることによる快適性向上便益を計上

$$B/C = 1.18$$

便益(B)：歩行時間の短縮、自動車との分離による安全性の向上、EVやESCとの接続による上下移動の快適性向上便益を計上

$$B/C = 2.97$$

便益(B)：駐輪場収入、周辺の放置自転車対策費用の縮減のほか、安全性の向上や歩行空間が広がることによる快適性向上便益を計上

$$B/C = 1.01$$

便益(B)：歩道拡幅、自転車専用通行帯整備による移動時間短縮、安全性の向上、滞留・交流機会の創出、都市景観の向上等を計上

5. 改善措置等の検討について

事業名称

実施したコスト縮減等の取組み

地下鉄旅客案内施設の改良
【拠点間回遊案内強化事業】

- 各駅に設置していた管理設備を集約し、設備費を低減

地下鉄空港線・七隈線
乗換案内モニターの設置
【拠点間回遊案内強化事業】

- 既存の情報システムを活用することで、システム構築費用を低減

明治公園自転車駐輪場
整備事業

- 明治公園の再整備にあわせた整備により、用地確保や整備費を低減

因幡町通り地下通路
整備事業

- 隣接するビルの建替えにあわせた、ビルの開発事業者による整備

ふれあい通り地下通路・駐輪場
整備事業

- 天神地下街の延伸時に整備した地下駐車場仮設車路の躯体を活用

はかた駅前通り再整備事業

- 通りの魅力向上に向けた取り組みをエリアマネジメント団体を中心となって実施

6. 対応方針(案)

補助対象事業は令和4年度までにすべて完了している。

- 「国際競争力の強化」、「防災機能の強化」、「都市環境の改善」を図るため事業を実施し、効果や必要性を評価するための指標を十分に満たしている
- すべての補助対象事業において便益が費用を上回っている
- 地域内では、進行中や計画中の民間都市開発事業が複数ある

- 今後も民間活力を最大限に引き出す効果的な公共基盤整備や、都心部の魅力向上、回遊性強化に資する取組みなどを必要に応じて実施し、引き続き、官民連携による国際競争力の高いまちづくりを進めていく

国際競争拠点都市整備事業 事後評価総括表

1. 事業概要

特定都市再生緊急整備地域の名称	福岡都心地域	面積	231ha	事業採択年度	平成24年度	総事業費	31億円
-----------------	--------	----	-------	--------	--------	------	------

＜整備方針＞	＜事業の上位計画＞
建築物の建て替え等の更新期を捉え、官民共働で高質なビジネス環境や広域から人を集める魅力づくりを推進し、都心部の国際競争力を高め、商業、文化、国際ビジネスなどの集積を促進する。特に、都心部の核となる天神・渡辺通、博多駅周辺、ウォーターフロントの3地区について、それぞれの都市機能を高めるとともに、回遊性の向上を図り、地区間相互の連携を高める。	福岡市基本計画 福岡市都市計画マスタープラン 都市再生緊急整備地域に係る地域整備方針

事業種別	細項目	事業名称	事業主体	事業規模	補助対象事業費	事業期間
鉄道施設の建設又は改良	鉄道施設	拠点間回遊案内強化事業(地下鉄旅客案内設備の改良)(地下鉄空港線(天神駅・博多駅))	福岡市	2駅(天神・博多駅)	134.6百万円	H24 ～ H26
		拠点間回遊案内強化事業(地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置)(地下鉄空港線(天神駅))		1駅(天神駅)	17.5百万円	H27 ～ H27
鉄道駅周辺施設の整備	鉄道駅周辺施設	明治公園自転車駐車場(博多駅)	福岡市	駐輪場:611台 (自転車 611台 原付100台)	450.0百万円	H25 ～ H25
		因幡町通り地下通路(天神駅)		延長:140m、幅員:6m	1643.0百万円	H27 ～ R4
		ふれあい通り地下通路・駐輪場整備事業(天神駅)	福岡市	通路 延長:130m、幅員:4～5.5m 収容台数:自転車400台	512.0百万円	H27 ～ H30
		はかた駅前通り再整備事業(博多駅)		延長:約520m、幅員:約27m	481.0百万円	H28 ～ R4

2. 事業効果等の確認

(1)費用対効果

事業名称	便益(B)	費用(C)	費用便益費(B/C)	再評価時B/C(H29)	算定基礎となった要因の変化(主なもの)
拠点間回遊案内強化事業(地下鉄旅客案内設備の改良)(地下鉄空港線(天神駅・博多駅))	204.0百万円	125.9百万円	1.60	1.60	-
拠点間回遊案内強化事業(地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置)(地下鉄空港線(天神駅))	31.9百万円	24.0百万円	1.33	1.33	-
明治公園自転車駐車場(博多駅)	1,029.0百万円	828.3百万円	1.24	1.24	-
因幡町通り地下通路(天神駅)	3,837.6百万円	3,241.0百万円	1.18	2.00	期間延長及び事業費増
ふれあい通り地下通路・駐輪場整備事業(天神駅)	3,827.6百万円	1,286.8百万円	2.97	2.95	因幡町通り地下通路との一体利用による便益増
はかた駅前通り再整備事業(博多駅)	648.7百万円	644.7百万円	1.01	1.32	期間延長及び事業費増

(2)事業効果の発現状況

評価項目	評価指標	指標チェックの根拠
1. 国際競争力の強化	●国際空港等へのアクセス性の向上 国際空港等へのアクセス性の向上が見込まれる。	・電車の乗換案内や遅延状況等の表示情報の充実、多色化(7色)による視認性の向上など、老朽化した[地下鉄旅客案内設備の改良] ・「地下鉄空港線(天神駅)」の出入口に、両駅の時刻表などを表示する[地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置]
	●拠点駅周辺の利便性・快適性の向上 特定都市再生緊急整備地域内における拠点駅を中心とした歩行者ネットワークの利便性や快適性の向上が見込まれる。	・明治公園の再整備に合わせた[明治公園自転車駐車場を整備]し、周辺の放置自転車や老朽化したサイクルポストを撤去することで、博多駅周辺の歩行者空間を確保 ・拠点駅間や市役所をバリアフリー動線で結ぶ[因幡町通り地下通路、ふれあい通り地下通路の整備]による、歩行者ネットワーク強化 ・自転車通行空間の確保や歩道の拡幅(5.5m⇒7.25m)など、「天神地区」と「博多駅周辺地区」の回遊主軸である[はかた駅前通りの再整備] ・博多駅博多口における多層階ネットワークを形成する、民間開発における歩行者空間を整備を誘導[JRJP博多ビル、KITTE博多、深見パークビルディング]
	●企業活動の誘発 グローバルな企業活動等の誘発効果が大きい事業である。	・1フロア700坪を超える最新のオフィス空間を整備するとともに、グローバルな企業を誘致[天神ビジネスセンター等]
2. 防災機能の強化	●施設の安全性向上 都市開発事業や公共公益施設の整備に伴う施設更新により、防災性が向上する。	・基準を上回る耐震性を備えた民間ビルの建設を誘導[JRJP博多ビル、KITTE博多、天神ビジネスセンター等]
	●施設のBCP対応化 都市開発事業に伴い自律分散型エネルギー施設が整備されるなど、災害時における業務継続に貢献する。	＜災害時における業務継続に貢献する施設＞ ・72時間の非常用発電機を設置[JRJP博多ビル等]
	●災害時支援 地域の防災計画に位置づけられた施設がある。または、都市再生安全確保計画等に位置づけられた施設整備を伴う事業であり、災害時の安全確保などに貢献する。	・災害時における帰宅困難者のための一時避難場所の確保 ・防災用備蓄倉庫の設置 [JRJP博多ビル、KITTE博多、天神ビジネスセンター等]

3. 都市環境の改善	●施設整備等による快適性向上 公園、広場等の公共用地の整備や街路樹塔の施設整備により周辺環境の快適性が向上する。	・[はかた駅前通り]における官民連携によるフラワーポットやベンチ等の設置
	●交通安全の向上 歩行者デッキや歩行者通路等の整備により、歩行空間の安全性が向上する。	・[因幡町通り地下通路、ふれあい通り地下通路]を整備 ・自転車通行空間の整備による自転車と歩行者を分離[はかた駅前通り再整備事業] ・多層階歩行者ネットワークを形成する民間開発における歩行者空間の整備を誘導[JRJP博多ビル、KITTE博多]
4. その他	●事業の効率性	拠点間回遊案内強化事業(地下鉄旅客案内設備の改良):B/C=1.6 拠点間回遊案内強化事業(地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置):B/C=1.33 明治公園自転車駐車場:B/C=1.24 因幡町通り地下通路:B/C=1.18 ふれあい通り地下通路・駐輪場:B/C=2.97 はかた駅前通り:B/C=1.01
	●上位計画への位置づけ 都市再生特別措置法に基づく特定都市再生緊急整備地域の整備計画に位置づけられている。	福岡都心地域整備計画
	●国家戦略特別区域等の認定 国家戦略特別区域に含まれている。	福岡市 グローバル創業・雇用創出特区
	●民間による投資の誘発 民間による投資の誘発効果が大きい事業である。	警固断層などのリスクがある中、更新期を迎えたビルが多い天神、博多駅周辺地区では、国家戦略特区による航空法高さ制限のエリア単位での特例承認や市独自の容積率緩和などの規制緩和を活用し民間建築物の更新を誘導する「天神ビッグバン」や「博多コネクティッド」により、耐震性が高く先進的なビルへの建替え計画が着実に進んでおり、これに合わせ、みどりや文化・芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの人々や企業から選ばれるまちづくりを進めている。

(3) 事業実施による環境変化

-

(4) 社会経済情勢等の変化

○都市拠点整備や規制緩和を活用した民間ビルの更新誘導による開発増加が都市の魅力向上に繋がり、都心部の地価平均価格の推移を見ると、平成24年と比較し令和5年は約3倍となるなど、大きく上昇している。 (H24:1,177千円/㎡ ⇒ R5:3,009千円/㎡) ○都心部の人流については、新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年には来街者が大幅に減少している状況はあったものの、現在は徐々に回復しており、計画期間を通して概ね増加傾向となっている。 【主要駅乗降客数】H24:65.32万人/日 ⇒ R1:77.52万人/日 ⇒ R2:49.13万人/日 ⇒ R4:65.08万人/日 【入込観光客 数】H24:17.4百万人/年 ⇒ R1:21.5百万人/年 ⇒ R2:11.3百万人/年 ⇒ R311.8百万人/年
--

3. 改善措置等の検討

今後の事後評価の必要性	一部継続的な検証が望ましいものはあるが、効果発現が確認されており必要なしと判断	改善措置の必要性	コスト縮減等十分検討されており、更なる改善措置は必要なしと判断
事業ごとの改善措置等の検討状況			
事業名称		事後評価・改善措置の必要性の検討状況	
拠点間回遊案内強化事業(地下鉄旅客案内設備の改良)(地下鉄空港線(天神駅・博多駅))		H26事業完了・各駅に設置していた管理設備を集約することで、設備費の低減を図っている。	
拠点間回遊案内強化事業(地下鉄空港線・七隈線乗換案内モニターの設置)(地下鉄空港線(天神駅))		H27事業完了・既存の運行情報提供システムを活用することで、システム構築費用の低減を図っている。	
明治公園自転車駐車場(博多駅)		H25事業完了・明治公園の再整備にあわせた整備であり、用地の確保や整備費の低減を図っている。	
因幡町通り地下通路(天神駅)		隣接するビル建替えにあわせた、ビルの開発事業者による整備を実施している。	
ふれあい通り地下通路・駐輪場整備事業(天神駅)		天神地下街の延伸時(H17開業)に整備した地下駐車場仮設車路の駆体を活用している。	
はかた駅前通り再整備事業(博多駅)		通りの魅力向上に向けた取り組みをエリアマネジメント団体が中心となって実施している。	

5. 今後の方針(案)

今後の事業予定等
R4年度で全ての事業が完了となる。 今回事業については、「国際競争力の強化」、「防災機能の強化」、「都市環境の改善」を図るため事業を実施し、効果や必要性を評価するための指標を十分に満たしている。 地域内では、進行中や計画中の民間都市開発事業が複数あり、今後も民間活力を最大限に引き出す効果的な公共基盤整備や、都心部の魅力向上、回遊性強化に資する取組みなどを必要に応じて実施し、引き続き、官民連携による国際競争力の高いまちづくりを進めていく。